

四、文書教育は死の教種である

イ、機関紙又は機関誌

組合の機関誌或は機関紙は指令、通告、明争報告、支部待望報告、等々の紙面  
の大部分を埋めるを常とするが、それ以外の教育的任務も充分に果たすべく努めな  
なければならぬ。毎号講演や講座の形で原理論の解説を連載すること、時事の  
形に於て時事問題の階級的批判を加へることを要する。機関紙は組合員の全部の  
友ならず、その家族の若達にも読ませべきものであるから、論文は出不得る限り  
平易かつ興味をもつてそれ等の人々が読得るものでなければならぬ。原理論解  
は常に実証的比論的であつて抽象的に陥つてはならぬ。出不得るならば機関紙は  
繪入であつて欲しい。

ロ、パンフレット

之は文書教育としては最有力なる武器である。組合の出版部は教育部及び事  
業部と聯絡して系統的にパンフレットの出版に努めるべきである。その出版方法  
は組織的であつて一つを讀めば是非次を讀み及ぶる様な材料の採擇と配列を  
要する。機関紙にあつては一つの大きな問題をよとの完全な取扱が事が出来る

いがパンフレットは此の缺點を完全に去らなつて居る。或る問題を体系的に一と  
まためにして労働者の頭に入る事が出来る。之が大なる価値を、パンフレットの  
内容が洗練されたものであり、そしてその書き方が興味を持つて労働者が読得  
るものでなくてはならぬものであることは云ふまでもない。便くする所の直訳的文  
書はよじりぬが文献的なものであつても、労働者の言語に書きかえられる必要が  
ある。一定数のパンフレットを契約的の形式で出版する事は多く読まぬ点に於  
て役立つであらう。凡て教育的出版物は多かれ少なかれ最初は義務的に読ませる  
必要がある。読書習慣を労働者に持たせることは教育の基礎的條件の一つだ。

ハ、リーフレット

之は臨時適切なる問題を提へて一般大衆の重要時事の内容を知らしめる所のも  
のである。主として之は露露教育用の出版物であるが、パンフレットとビラの  
中間に位する喚起手段の武器である。

ニ、ビラ

之は吾等の指針である。ストライキ、退学その他凡ての大衆運動の場合に徹さ  
散らすものである。尙ほ労働階級としては之等の小さな紙片に於ても出不得る